

城下町くまもとを主題とするまちづくり提案競技・写真コンクール・図画コンクール

(社) 日本建築学会九州支部、熊本大学工学部まちなか工房、熊本市、熊本市現代美術館との共催行事

まちなか工房担当教員 両角光男

1. 標記行事開催ならびに行事経費支援申請の経緯

日本建築学会は創立120周年記念事業として、「美しくまちをつくる、むらをつくる」を主題とする、まちづくり提案競技、まちづくり写真コンクール、まちづくり図画コンクール開催を計画した。具体的には、各支部が市町村を一つ選び、そこと共催する計画だった。同学会九州支部（以下、支部）は、築城400年を迎える熊本城とその城下町を対象とする計画を構想し、平成19年2月に同支部都市計画研究委員会を通じ熊本大学工学部まちなか工房（以下、工房）に、熊本市と共催して計画を具体化するよう依頼があった。

工房担当教員が話し合い、学会の提案が工房の実施すべき市民と連携したまちづくり行事の一つとして相応しく、また行事共催が熊本大学工学部を全国に紹介する機会となり得ると判断した。そこで、熊本市（都市整備局市街地整備課）並びに、熊本市現代美術館との協議を経て、学会と標記事業を共催すること、工房が行事の事務局を務めることなどを決定した。実施案を煮詰める過程で、提案競技入選作品展示会を工房で開催することになり、特に提案競技に関する事業経費の一部を、ものづくり総合融合工学教育センターの工房展示・ゼミスペース利用企画支援事業に申請し、運営委員会の事業採択を得た。

2. 実施体制

主催 日本建築学会九州支部

共催 熊本市、熊本大学工学部まちなか工房、
熊本市現代美術館

後援 熊本県建築士会

実行委員長 両角光男（熊本大学、工学部まちなか工房）

委員 佐藤誠治（大分大学・支部都市計画委員会）

位寄和久（熊本大学）

磯田節子（八代工業高等専門学校）

有馬隆文（九州大学、支部常議員）

志賀 勉（九州大学、支部常議員）

同 事務局 両角光男、富士川一裕、前田芳男、浅野みどり
（熊本大学工学部まちなか工房）

位寄和久、大西康伸、田中智之（熊本大学）

永村次信、井上拓也（熊本市）

3. 行事の概要

学会の初期提案にそって、学会会員を対象とする提案競技、一般市民を対象とする写真コンクール、小学生を対象とする図画コンクールの3部門で実施した。それぞれのテーマは次に示すように、学会が設定した共通テーマ「美しくまちをつくる、むらをつくる」を、熊本の城下町に馴染むものに調整した。

3. 1. 会員部門 まちづくり提案競技

①課題

「城下町くまもとに住みつくす

～まちなかライフをさらに楽しむための仕掛けとしてのデザイン～」

熊本市の中心市街地を構成する旧城下町約200haのエリアを主対象に、「城下町くまもと」が重ねたまちの年輪から個性や魅力をもっと引き出し、城下町の生活にこだわって、見つけたい・食べつくしたい・住みつくしたいと願っている人を満足させるような都市デザインや建築デザインをA1のシート1枚にまとめて提案する。なお課題の詳細、および写真、地図、資料をコンペ専用webページで提供した。

②審査員

委員長 工藤和美（建築家、東洋大学教授）、

委員 富士川一裕（都市計画家・工学部まちなか工房）

磯田節子（八代高等専門学校助教授）

幸山政史（熊本市長）

竹下輝和（九州支部長・九州大学教授）

③選考方法 2段階審査。一次選考通過者7点について、公開審査により各賞を決定。

④スケジュール

応募登録受付 7月3日（月）～7月28日（金）

現地説明会 7月29日（土）午後

応募作品受付 9月1日（金）～9月22日（金）

一次審査会 9月30日（土）工学部まちなか工房

一次選考発表 10月2日（月）ウェブページおよび郵送

公開審査会 10月21日（土）13時～16時30分

熊本市現代美術館ホームギャラリー

表彰式 10月21日(土) 17時-17時30分
熊日会館びぶれす広場

展示 10月22日(日)~30日(月)
熊本大学工学部まちなか工房

- ⑩賞 最優秀賞 1点(賞状、副賞10万円)
優秀賞 3点(賞状、副賞5万円)
熊本市賞 3点(賞状、副賞1万円)
佳作 3点(賞状)

⑪参加者数等

参加登録者数 42チーム 125名
現地説明会参加者数 約40名
作品提出者数 32チーム
公開審査会参加者数 約90名

3. 2. 一般部門 まちづくり写真コンクール

①課題

「城下町くまもとのフォトカード」
遠くの友人に紹介したい城下町くまもとの暮らしや生活風景など、美しいまちとくらしの関係をとらえた写真にコメントを添えてフォトカードを作成する。

②審査員

委員長 川畑雅弘(写真家)、
委員 最所美紀(熊本上通郵便局長)
両角光男(工学部まちなか工房)

③提出物 写真を官製はがきサイズ(100mm×148mm)の用紙1枚に貼り、裏面に撮影の意図などのコメントを記載する。カラーあるいは白黒いずれも良い。使用する写真の枚数や大きさ、カラーあるいは白黒の別は制限しない。デジタルカメラでの撮影およびパソコンによる編集やプリンターによる印刷も構わない。

④選考方法 作品による直接審査。

⑤スケジュール

応募作品受付 9月19日(火)~9月29日(金)
審査会 10月9日(月) 熊本市役所
結果発表 10月12日(木) ウェブ頁および郵送
表彰式 10月21日(土) 17時-17時30分
熊日会館びぶれす広場
展示 10月21日(土)~22日(日) 同上

- ⑥賞 最優秀賞 1点(賞状、副賞 図書券1万円)
熊本市賞 2点(賞状、副賞 図書券5千円)
まちなか工房賞 3点(賞状、副賞図書券3千円)
入選 16点(賞状)

⑦応募作品総数 70点

3. 3. 小学生部門 まちづくり図画コンクール

①課題

「400年後の城下町くまもと」:「くまもとが、こんなまちになったらいいな」、「未来のひとはこんなまちに住んでほしいな」。応募者が想像した熊本の未来を図画(平面作品)として描き、素敵なえはがきにする。

②審査員

委員長 有田 巧(崇城大学芸術学部教授)、
委員 石井祐治(熊本市立黒髪小学校校長)
川野智子(熊本市教育委員会指導主事)

③提出物 写真を官製はがきサイズ(100mm×148mm)の用紙1枚に描く。平面作品であれば、用紙の縦横使い、画材は自由。

④4 選考方法 作品による直接審査。

⑤スケジュール

応募作品受付 9月19日(火)~9月29日(金)
審査会 10月9日(月) 熊本市役所
選考結果発表 10月12日(木) ウェブ頁および郵送
表彰式 10月21日(土) 17時-17時30分
熊日会館びぶれす広場
展示 10月21日(土)~22日(日) 同上

- ⑥賞 最優秀賞 1点(賞状、副賞図書券5千円)
熊本市賞 2点(賞状、副賞図書券3千円)
まちなか工房賞 3点(賞状、副賞図書券3千円)
入選 15点(賞状)

⑦応募作品数 173点

4. 総括

各部門とも非常に多くの応募者があり、魅力的な作品が集まった。とりわけ、まちづくり提案競技では、九州内の大学はもとより、関西や北陸の3つの大学から応募もあり、また熊本市現代美術館のホームギャラリーで開催した公開審査会では90名も参加があり熱気に満ちたものとなった。

3部門の表彰式は、谷口工学部長、熊本市都市整備局長(市長代理)、各部門の審査委員長らを来賓に迎え、上通アーケード入口横の熊日会館びぶれす広場で開催した。家族同伴で出席した小学生達はやや緊張の面持ちだったが、工学部長などの来賓から賞状を手渡されて笑顔を見せたのが印象的だった。工房で開催した提案競技の入選作品展示会も、建築系の学生や教員はもとより、行政関係者や市民などの来場があった。



写真1 まちづくり提案競技一次審査会
(2006.09.30 熊本大学工学部まちなか工房)



写真2 写真3 まちづくり提案競技公開審査会
(2006.10.21 熊本市現代美術館ホームギャラリー)



写真4 まちづくり提案競技表彰式
(2006.10.21 熊日会館ビブレス広場)



写真5 図画コンクール表彰式
(2006.10.21 熊日会館ビブレス広場)

図1 まちづくり提案競技入選作品展示 (2006.10.21～10.31 熊本大学工学部まちなか工房)の
紹介記事 (熊本日日新聞統合版 2006.10.25)